



2011~2012

会 報

R I 2720地区

The Hitoyoshi Rotary

人 吉

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために通 算 2679回
2011年10月28日
第16回例会
毎週金曜日

会報編集 川越公弘委員

Reach within to
Embrace Humanity2011-2012年度 R I 会長
カルヤン・バネルジー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171

◀ 例会場

事務局 ▶

清流山水花 あゆの里内 ☎②6665 ☎②6505

[URL] <http://www12.ocn.ne.jp/~hrc/>[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

10月職業奉仕 米山月間

点 鐘	宮原和広会長
歌 唱	ソングリーダー 馬場貞至SAA委員 国 歌 「君が代」 R S 「それでこそローター」
司会・進行	葉山稔洋プログラム委員長
来訪者紹介	宮原和広会長 水俣RC 平山英樹 会長 〃 小川雄二 幹事

会長の時間

宮原和広会長

昨日は、この秋の冷え込みとなり11月下旬並みの寒さとなり、私も思わずストーブを出しました。しかし、朝夕と日中の寒暖の差が厳しく体調管理には十分注意をして下さい。

昨夜(10月27日)、ロータリー財団、米山記念奨学委員会の合同家庭集会在「石亭の館」で行われました。ロータリー財団と米山記念奨学会の共通点は会員の寄付によって活動が運営されているということです。

10月が職業奉仕・米山月間で先週の例会で米山記念奨学委員会の片岡委員長より卓話をして戴きました。来週の例会(11月4日)に「第18回米山奨学生招待事業」として、中国出身の奨学生チョウコン君が来訪致します。熊本水前寺公園RCがスポンサーで小糸会員がカウンセラーで同行されます。家庭集会では、将来当クラブが奨学生のスポンサークラブとして考えてもいいのでは!という意見も出されました。今後の検討課題だと思います。

そして、11月がロータリー財団月間ということもありロータリー財団の和田委員長よりロータリー財団寄付について現状報告と今後の計画と説明がありました。

ロータリー財団は1917年、アーチCフランク国際ロータリー会長が「世界でよいことをするために」基金の設置を提案したことに始まり、1983年に米国のイリノイ州法の下に非営利財団法人となり

ました。ロータリー財団の使命はロータリアンが健康状態を改善し、教育の支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすることで、ポリオプラス・教育的プログラム・人道的補助金プログラムの3つの主要なプログラムがあります。

ロータリー財団への寄付がこの様な活動の基となり、ロータリー奉仕の理想の根本となっていることを理解して戴きたいと思えます。

本日、ロータリー財団より武末先生にマルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証ピンが届いておりますので、後ほど贈呈式を行います。

早いもので、会長に就任して4ヶ月経とうとしています。

さて、今年度の人吉RCの年次総会をクラブ細則第4条第1節により12月2日の第1例会に開催するようになっております。年次総会において次々年度会長、次年度役員・理事の発表そして承認を受けるようになっております。クラブ細則第1条第1節により1ヶ月前に候補者の指名を求めます。

期日は次回の例会日、11月4日迄に馴田幹事か私に申し出て下さい。もし、申し出がなかった場合には、その後の手順に則り進めさせて戴きますので会員皆様のご理解よろしくお願い致します。

尚、当クラブの慣例により次年度の幹事・会計・理事の指名を次年度山賀会長に発表・承認して戴く方法を取らせて戴きたいと思えますので会員皆様のご了承を宜しくお願い致します。

幹事報告

馴田信治幹事

【連絡事項】

◇第58回球磨人吉総合美展開会式案内

日時；平成23年10月29日(土)10:00～

場所；人吉スポーツパレス大アリーナ

展示；10/29～11/3

◇人吉市長田中信孝氏より「人権を大切にす

まちづくりフェスティバル」開催案内

日時；平成23年11月27日(日)13:00～16:00

場所；人吉カルチャーパレス小ホール

【例会変更】

熊本西RC11/15→18:30～夜の例会のため

〃 11/29→例会取止め
熊本北RC11/17→18:30～観月会のため

割烹火の国

『折り鶴会』

人吉ローターアクトクラブ
幹事 福満珠実

【回覧】

熊本水前寺公園RC週報 多良木RC週報

～来訪者挨拶～



水俣ロータークラブ 平山英樹会長、小川雄二幹事より、新年度のご挨拶を頂きました。

Multiple 2 PaulHarris Fellow 武末憲一会員



ロータリー財団より武末憲一会員へ、感謝の言葉とマルチプル2・ポール・ハリス・フェローのラペルピン(2粒サファイア)が届きました。

出席率報告

原田知一郎委員

本日の出席率			
会員数	66名	74.19%	
出席免除	5名	10/14例会出席率	77.42%
欠席者数	15名	補 填 数	9名
出席者数	46名	修正出席率	91.19%

*届け出欠席

齊藤・川越・永江・赤池・北・永尾・丸尾・有村・大久保
小林清・和田・木村・友永・本田・堤正

*出席免除会員

(a) 石蔵 (b) 増田, 愛甲康, 山本, 釜田

*メイクアップ

人吉中央RC; 宮原・水野 R情報委員会家庭集会; 高山
人吉RAC例会; 高山・武末
米山・R財団委員会家庭集会; 片岡・和田・伊久美・中川

≪ 寄付の申し出 ≫



平田フク会員より、日本生命勤続35年を記念して、R財団、米山記念奨学会へご寄付がありました。

【ローターアクト委員会】

折り鶴会について

立山 茂委員長

折り鶴会は来年から多良木RC、人吉中央RCと外に向かったの活動が始まります。OBや一般の人も含めた組織を作ってやっていこうと進めております。内容については本日記りました主旨書をお読みください。今後のご支援ご協力をお願いします。

はじめは、広島ローターアクトクラブからの『千羽鶴例会』のお知らせでした。そこには、「私たちは、“平和と戦争”というものに向き合い、これからの平和というものについて考えなければならぬ。原爆による死没者への鎮魂と平和への祈りをこめて慰霊祭に千羽鶴を捧げるとともに、新世紀の平和についてともに考えるというこの例会が、皆様にとって平和について考える“きっかけ”になればと願っております。」とありました。

2011年3月に起こった東日本大震災はもちろん、近年の度重なる天災で、戦争がなく平和だと思っていた日本でも“平和”“命”“原発”などについて意識せざるを得ない状況となっています。そんな中、2011年7月に届いたこの一通のメールが心を打ちました。

広島での例会に参加する以外にも、千羽鶴制作に協力するという形で参加できるということもあり、人吉ローターアクトクラブでも平和について考え、語り合いながら千羽鶴を折って、私たちが作った千羽鶴も一緒に奉納してもらおう!!と思い、鶴を折り始めました。

“平和”への祈りをこめて鶴を折ることを通して、一人よりも二人、二人よりも三人と、より多くの人々と、考え、語り合う“きっかけ”になればと思ひ、賛同してくれる仲間と共に『折り鶴会』を立ち上げることにしました。年齢、性別、職業、国籍…この会に参加する為の条件は何もありません。どのような形であれ“平和”への思いがあれば誰でも参加できます。

たくさんの折り鶴と平和への思いを、来年開催の『千羽鶴例会』へ届けましょう!!

【R情報委員会】

中川貴夫委員

10月20日(木)ロータリー情報委員会家庭集会が開催されました。委員会の今年の計画・担当委員を説明され会議を進められました。私の担当は、新人会員(3年未満)に対してのロータリーについての勉強会を開催する事ですが、色々な意見が出ました。その中の一つに「3年未満を対象としているが、いつも、いつも真面目に勉強会を受けている人は、嫌気が出るのでは無いか?私も含めてロータリーが本当に分かって無い人は、沢山いるのでは無いですか?全員を対象に行っては?」との意見も出ました。また、「例会に来ていても真剣に聞いている人は、何人いるのだろうか?」との意見も、又、「せっかく行うのであれば、地域をとらえて、人吉中央RC、また、多良木RCとの合同勉強会を行って、ロータリー全体の底上げを人吉RC含めて行ったら?」「又、それならば、年度前に計画して行った方が?良いのでは」etc…と活発に意見が出ました。

結論は、出ませんでした。が進行形で開催を考えながら行いたいと思います。意見を集約すると「新人会員だけでなく人吉ロータークラブ全会員の意識底上げが出来たらもっと素晴らしいロータリアンが増え楽しいだろう」との思いがあった様に感じまし

て、試験的にやってみようという事になりました。2003～2004年に6カ国18クラブによって試験的に採用されまして、それが大変良かったという事から2004年11月で推奨クラブ細則として新しくなったという事です。

次に、RIはCLPの目的をこんなふうに言っております。「クラブ・リーダーシップ・プランの目的は、効果的なクラブの管理の枠組みを提供する事によって、クラブレベルでロータリー強化を図る事です。」

そして、その利点として5つ挙げています。

1. プロジェクト及び意志決定の継続性。
2. 意志決定及び目標設定の際のコンセンサスを得やすい。
3. クラブ指導者の活動の場の拡大と強化
4. それからクラブ指導者の継続性
5. クラブ活動における全クラブ会員の参加です。

④. CLP実施にあたって

RIはCLPを実施するに当たりまして、9つのステップを挙げております。

1. 効果的なクラブの要素に取り組む長期計画を立案する事。
2. それを今度は単年度に落とし込むと長期計画と合致した年間目標を設定する事。
3. クラブ協議会を開催し会員に計画策定に参加して貰い、ロータリーに関する情報を常に把握して貰えるようにする事。
4. クラブ会長、理事会、委員会委員長、クラブ会員、地区ガバナー、ガバナー補佐及び地区委員会の間に明確な意思疎通を図れるように確認する事。
5. 将来の指導者育成を確実にする一貫した引き継ぎ計画を、概念を含め指導者の継続性を確保する事。
6. クラブ委員会の構成とクラブ指導者の役割と責務を反映させるべく細則に修正を加える事。
7. 会員の親睦をさらに深める様な機会を提供する事。
8. 全会員がクラブのプロジェクトや業務に活発に関与し合うに計らう事。
9. 以下を確実にするため包括的な研修を企画する事になっております。

クラブ指導者が地区研修会の会合に出席をする、新会員の為の一貫したオリエンテーションを定期的実施する。現会員の為の継続的な教育の機会を提供する。

⑤. CLP導入の効果

CLPを考案したLDT委員会（リーダーシップ・ディベロップメント・トレーニング・コミッティー・リーダーシップ・研修開発委員会）。RI元理事でLDT委員会元委員長のロンバートン氏が「THE ROTARIAN」という雑誌のインタビュー記事では「CLPを導入する事によって、逆にこういう事がチェックできますよ」とおっしゃっております。

- ・効果的なクラブとなる要素に、どんなふうに取り組んでいるかという事がチェックできますよ
- ・クラブ会長、理事、委員長、委員、地区役員とのコミュニケーションを図っているかどうかと

いう事がチェックできますよ

- ・リーダーシップと奉仕活動の連続性という事がチェックできますよ
- ・クラブの現状を反映した細則になっているかどうかという事がチェックできますよ
- ・動機づけの為に親睦を活用しているかという事もチェックできます
- ・すべての会員にロータリー教育を提供しているかという事もチェックできます

⑥. 委員会構成

次に、RIは5つの常任委員会についてこのように言っております。五大奉仕に基づく年間目標及び長期目標に取り組むというのが常任委員会の役割である。

会長エレクト、会長、直前会長が協力して、指導の一貫性と計画の継続性を図るという事になっています。それから可能であれば、委員会の委員は3年を任期として任命される。従って、会長エレクトは、空白を埋めるために委員及び委員長を任命する。そして、年度開始に当たって計画を立てる為の会議を開催する。委員長は同じ委員会の経験を備えた人を推薦するという事になっています。

また、その常任委員会の下に小委員会を置く事が出来ると述べています。しかし、私の年度（2010～2011年度）の人吉ロータリークラブでは、組織の指揮命令が不明確となる為、会員皆様の同意を総会で戴き、あえて従来組織に戻しDLPに順応出来る変則CLPの組織を作らせて戴きました。組織においては、クラブ会員の少ないクラブはCLPを最大に生かしDLPよりアドバイスを戴き、クラブ運営に邁進して欲しいと思います。

最後に、このCLPで特徴的なことは、理事と常任委員会の役割について分けて考えているという事です。従来細則によりますと、五大奉仕の委員長は理事であるという事でしたが、今回のCLPでは、常任委員会の委員長は、必ずしも理事でなくてもいいという事になっています。むしろこれを分けるといった考えがあるかもしれません。

RIによりますと、クラブ理事はクラブを管理するために選出されたもので、委員会や予算案について客観的な意思決定を行うという事と、理事としていろんなクラブの意志決定を行うという機関であるという事になっています。それに対し、クラブの常任委員会の委員長は、決まったことを実行するものであるという事でございます。会長エレクトに任命されて、クラブの目標の遂行を受け持ち各自の委員会の活動に焦点を当てると、こういったような形になっています。お分かり戴けたでしょうか？

もうそろそろ、次年度が始動をはじめますが、山賀会長エレクト、浅野副幹事、少しでも参考にして、委員会組織を考えて戴ければ幸いです。以上、ロータリー情報委員会から卓話させて頂きました。ありがとうございました。

点 鐘 宮原和広会長

※ニコニコ箱カード・R財団カードは次回に掲載します